

7月6日記念式典

合併一周年

昨年6月20日に新大館市が誕生してからも1年を迎えますが、この間、PFI方式によるごみ焼却場「大館クリーンセンター」の本格稼働、市立総合病院増改築事業の工事中、山田地区の携帯電話不通の解消、比内地域への救急車配備など、長年の課題や施策に一定の成果がありました。

また、市政振興の最上位計画である、新大館市総合計画「や」新第3次大館市行政のスリム化推進

行政のスリム化推進

新第3次行政財政改革大綱及び実施計画

国の三位一体改革による地方交付税の大幅削減により、厳しい財政運営が予想されます。

このため、市では、行政改革を強力に進めていくため、平成18年度から4年間の取り組みの指針となる「新第3次行政財政改革大綱」と「実施計画」を策定しました。

その主な指標は、①行政職の職員を平成22年までに114人以上削減、②経常経費を平成22年度当初までに対17年度比

財政改革大綱」の策定を終え、「都市計画マスタープラン」と「地域防災計画」は、年度内の完成を進めています。今後も地域の均衡ある発展を図りながら「合併して良かった」と実感していただけるよう努めていきます。

なお、7月6日に、合併1周年の記念式典を予定し、善行者の表彰と、行政協力員大会を開催します。

で8パーセント以上削減、③公の施設のうち64施設を平成22年度までに指定管理者制度に基づき民間団体に経営を委託することなどです。

また、来年度予算の厳しい編成を想定し、事務組織体制のスリム化、行政サービスの維持・向上策の確立、既存の事務事業の見直しなどを庁内全課と協議しました。今後も行政改革推進に全力で取り組みます。

水稲は順調・アスパラガス出荷増大 農作物の生育状況

今年、昨年からの大雪の雪解けが遅かったことや4月の低温、天候不順で全作物とも生育の遅れが見られました。また、融雪による河川の増水などが心配されましたが、幸い急激な雪解けによる災害はありませんでした。

基幹作物の水稲は、播種作業の始期が4月15日と遅れましたが、苗の生育はおおむね順調でした。耕起作業は、雪解け

が遅かったことや曇天続きだったことが重なり、盛期が5月8日と平年より6日遅く、代播き作業も同様に遅れましたが、5月中旬から始まった田植え作業は、好天に恵まれ、終期が5月末と平年より数日の遅れとなりました。

野菜は、山の芋の定植作業が例年より1週間程度遅れ、本格的には5月末から6月上旬になる見込みです。アスパラガ



山の芋の畝立て作業

スは、7日から10日ほど萌芽が遅れていて、昨年より6日遅い5月8日に初出荷となりましたが、連休後の好天で生育が

市内初のドッグラン

5月13日に犬都記念公園ドッグランが開園し、多くの愛犬家にご利用いただいています。

この施設は、釈迦内鉱山株式会社が建設し、市へ寄贈されたもので、4、903平方メートルの敷地に大型犬用施設と小型犬用施設を設置し、駐車場が31台分、シエルター1カ所を併設しています。料金は、シーズン券1、500円と気軽に利用できるようにしています。

園内の清掃などの日常管理は、地元釈迦内本郷会の皆さんにボランティアとして協力していただき、市民と行政が協働しています。



犬都記念公園ドッグラン

犬都記念公園開園

進み、出荷量は増大しています。ネギは夏獲りの定植が4月中旬から始まりましたが、田植え作業と重なり、作業は遅れ気味です。シトウは、4月下旬に定植された早植えのものは、生育が順調に推移しています。

果樹は、ナシの「幸水」の満開が5月15日、りんごの満開は「玉林」で5月17日、「ふじ」が5月20日と平年より数日遅れとなっています。

豪雪や4月の天候不順による農作物への影響が懸念されますので、今後も気象情報に注意し、関係機関と連携を密にし、指導の徹底に努めます。

そのほかの報告

- ・平成17年度の決算見込み
- ・環境マネジメントシステムの取り組み状況
- ・大館西ショッピングセンターとジャスコ大館店の動向

- ・「平成18年豪雪」による農林業被害
- ・大館市植樹祭
- ・八子カベンチ設置事業
- ・三岳小学校の統合